

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力

園長室だより

城南学園幼稚園

園長 太田友子

令和4年11月1日



「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

「共に育てる」親も一緒に入園…

運動会「ごっこ」が続いています…

一日延期になった運動会ですが、無事に開催することができ、ほっとしました。年長児では親子競技も3年ぶりに実施でき、「楽しかった」「嬉しかった」というお礼のお言葉をたくさんいただきました。ご協力に感謝いたします。



さて、子どもたちの運動会は、その後も続きます。年中さんは、年少さんにパラバルーンを一緒にして、「引継ぎ」をしました。憧れのパラバルーンを、優しい年中さんと一緒にできた年少さんは大興奮！年中さんの丁寧で優しいこと。比べてみると体の大きさも違いますが、相手を思いやる「こころの力」もしっかりと育っていることがみて取れます。

ところが、その年中さんが、年長さんと一緒に鼓隊やカラーガードの「引継ぎ」をすると、またまた、年長さんの成長ぶりがよくわかります。このように、異年齢での触れ合いは、互いに「憧れ」と「思いやり」の心が育つ場として大変意義のある活動となっています。



「かがくタイム」参観の感想（年中児）

- 大きなビニルもスライダーも家ではなかなかできない遊びなので、遊びながらいろいろなことを感じたり、学んでくれたりしていいなと思います。
- 色々なことを知ることができてとても楽しいと、毎回の「かがくタイム」を楽しみにしております。問題解決のため物事を様々な角度から考えてみたり工夫したりするということを学ばせていただく学習時間だと思って、とても良いと思っております。
- 時間が長めの参観だったので、子どもたちの様子をじっくりと見ることができ、みんなとても楽しそうに参加していたので、とてもよかったです。
- 「かがくタイム」が本当に好きで自宅でも必ず遊んでいます。楽しみながら勉強ができ、さらに探究心も高まっていると感じています。たくさんの可能性を広げていただきありがとうございます。



10月2日（日）、令和5年度の新入園児選考を実施しました。ある保護者の方のお話をご紹介します。

「幼稚園を選ぶにあたり、どこか子どものためというより大人の都合ばかりで悩んでいました。共働きですので預かり保育はどうか、距離が近いか、しっかり教育してくれるかと必死になっていました。今思うと、紛れもなく幼稚園に任せて教育してもらおうという意識でした。

しかし、貴園の方針の一つである「共に育てる」という言葉に出会ったとき、考え違いをしていることに気づかされました。「お子さんのよいところも気になるころも、ご家庭と共に育てていきましょう。」とお話されたとき、親の背筋をピンと伸ばして下さったように感じたのです。親子で入園するという気持ちになりました。宜しくお願いします。」

今日の子育てでは、保護者の孤立感や閉塞感が強くなってきていると指摘されていますが、コロナ禍で一層拍車がかかり、子育ては家庭が一番とは言い切れない状況に陥っていると言われます。皆さんはいかがでしょうか？しんどさや不安を「共感」してもらえる存在や場があるのでしょうか。



親が元気に生きているとその姿を見て子どもは安心して育つものです。

本園では「共に育てる」関係をめざしていますが、共に支え合って「元気」に子どもたちに向き合えたらと願っています。



本園では、本年度から「子育て相談『すくすく』」を始めましたが、ご利用の方が増えてきました。大変嬉しく思います。どうか、お気軽にご利用下さい。

相談内容の守秘は当然のこと、園と連携をご希望の場合もお申し出ください。お子さんを真ん中にして「共に」育ててまいりましょう。